

## 「鹿島小学校の鹿島太鼓伝承活動の取組」

### 1 学校名

薩摩川内市立鹿島小学校

### 2 学年・人数

1年生3人，3年生4人，4年生6人，5年生6人，6年生2人（計21人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

令和3年10月～11月

（全10回）

令和3年11月15日（月）

ふるさと・コミュニケーション科

（鹿島地区コミュニティーセンター）

鹿島小・幼学習発表会リハーサル

（鹿島地域コミュニティーセンター）

#### (2) 発表の日時・場所

令和3年11月16日（火）

鹿島小・幼学習発表会

（鹿島地域コミュニティーセンター）

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

#### (1) 名称

鹿島太鼓（かしまだいこ）

#### (2) 由来

昭和55年に鹿島村郷土芸能保存会が組織された。昭和56年に自治宝くじの助成金を使って太鼓を購入した。昭和57年から新しい郷土芸能として，荒波に雄々しく立ち向かう漁民の姿を太鼓の音に表現した「鹿島太鼓」の創作を行い，地区コミュニティー婦人部を中心に継承してきた。

その後，鹿島中生徒が練習し，文化祭等で披露してきたが，平成25年度から休校になったため，小学生が，小・幼・地域合同文化祭で披露してきた。平成30年度からは中学生が海星中文化祭でも披露するようになった。昨年度から，小・幼学習発表会として実施し，保護者・地域へ披露している。

#### (3) 構成等

大太鼓，中太鼓，締太鼓，小太鼓で編成している。参加人数によって竹太鼓等でアレンジすることがある。

### 5 保存会や地域との連携の具体

学校の教育活動としては，「ふるさと・コミュニケーション科」の中で練習を位置付け，地域の保存会の橋野恵子氏に指導していただいている。学習発表会までに10時間の練習を行っている。

太鼓はすべて保存会からお借りしている。バチは平成26年度に学校で児童用を購入し，その後，毎年，破損や児童数増加による不足分を購入している。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校と地域が協力しながら、地域の伝統文化を継承していくための重要な活動と位置付けて取り組んでいる。例年どおりだと、お盆に行われる港まつりや大晦日に地域保存会が演奏を行うが、帰省した高校生や大人も入って演奏することもあり、子どもたちの憧れや意欲を高める機会となっている。また、本校は留学制度による転入児童があることから、毎年、鹿島太鼓に初めて触れる児童も多く、技術習得の困難さはあるが、鹿島の伝統文化を知り、学び、体験できるよい機会と捉え、練習に取り組むようにしている。

## 7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



練習風景①



練習風景②



令和3年度学習発表会での発表①



令和3年度学習発表会での発表②

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【5年生児童】

私は、小さい時から鹿島の祖父母の家によく遊びに来ていました。港まつりで、太鼓をたたいている人たちを見たことがあって、私もやりたいと思っていました。今年留学生として鹿島に来て、その希望をかなえることができよかったです。約1か月でできるようになったのは、先生のおかげです。

### 【教職員】

コロナ禍により、地域の文化にふれる機会が限られた中、太鼓練習や学習発表会でのお披露目は、子どもたちにとって、大変充実した活動となった。それぞれの太鼓練習から始まり、他の太鼓の音を聴き、全体でそろえていく過程は、子どもたちにとって大きな達成感となった。